

# 働くことの価値に気づく進路学習の工夫

－ 「ザ・仕事探偵！」でプロの技を

見つける職業体験学習を通して －

群 教 ゼ	G11 - 02
	平14.206集

特別研修員 堀越 正樹

## 《研究の概要》

本研究は、プロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を見つめる職業体験学習を中心とした進路学習を行うことで、生徒たちが働くことの価値に気づくことができることを実践を通して明らかにしようとしたものである。具体的には意欲を高めるための話し合い、観点に基づいたワークシートの作成、見つけたことを共有化するためのポスターセッション、プロの技に込められた働く人の思いを考える話し合い等の活動を行った。

【キーワード：進路指導 中学校 学級活動 職業体験学習 職業観・勤労観】

## 主題設定の理由

生徒の望ましい職業観・勤労観をはぐくむことが進路指導にとって重要な課題となっている今日、学校における取組のよりいっそうの充実が求められている。

本校で啓発的な体験活動として職業体験学習を実施するようになってから8年がたつ。しかし、過去に行われた職業体験学習での生徒の感想を見ると、「面白かった」「楽しかった」「疲れた」といった内容のものが多く必ずしも望ましい職業観・勤労観の形成につながっているとは言えない状況にあるように思う。その原因は、職業体験学習が生徒にとってイベントのようなものになってしまっていて、「学習」という意味合いが薄くなり、働くことについて考えることよりも表面的な楽しさや大変さのみに目が向いてしまっていることにあると考えられる。職業体験学習を有意義なものとし、学習としての成果をより大きなものとするためには、そのあり方を工夫しなければならない。事前・事後の学習を含めた職業体験学習を明確なねらいの下に構想し、それに基づいた進路学習に取り組むことで、働くことについて考え、その価値に気づくことができるようにする必要がある。

では、そのねらいをどのように設定したらいいのか。過去の職業体験学習の感想の中で、働くことについて深く考えられている生徒のそれには、共通点がある。それは、働いている人の姿を見たり、話を聞いたり、仕事を体験したりする中で、今まで気づけなかったプロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を見つけてきているということである。そこで、ねらいを「プロの技の発見」と設定し、それに基づいて事前・事後の学習を行い働くことについて考えていくことで、職業体験を中心とした進路学習が充実したものになるのではないかと考えた。さまざまな職業の「プロの技」を知り、専門的な技術や知識、仕事へのこだわりに込められた働く人の思いに触れることができれば、生徒は社会貢献や自己実現などの働くことの価値に気づくことができるであろう。

以上のようなことから、職業体験学習を中心とした進路学習において、実際に働いている人の姿を見て「プロの技」を見つけ、そこに込められている働く人の思いについて考えることによって、働くことの価値に気づくことができ、それが将来職業人・社会人として積極的に社会とかわり、生きがいのある人生を築こうとする意欲・態度を持つことにつながるだろうと考え、本主題を設定した。

## 研究のねらい

職業体験学習を中心とした進路学習において、まず事前学習で働く人のプロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を見つけてこようという意欲を高め、次に実際に職業体験学習で見つけたことをワークシートにまとめる。そして、事後学習で、見つけたプロの技を紹介しあう発表会を行い、その後に「プロの技」に込められた働く人の思いを考えていくことで、働くことの価値に気づくことができることを実践を通して明らかにする。

## 研究の見通し

- 1 学級活動「発見！プロの技」において、働く人の写真を見て、専門的な技術や気を付けていること、こだわっていることについて考え、クラスで話し合っていくことで、いろいろなプロの技があることを知り、職業体験学習で働く人のプロの技を見つけてこようという意欲が高まるであろう。
- 2 職業体験学習において、働いている人の様子や自分でやってみて気づいたことなどを「見て気づいたこと」「聞いて気づいたこと」「やって気づいたこと」という観点に基づいてワークシート「ザ・仕事探偵！」にまとめることにより、プロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を見つけることができるであろう。
- 3 学級活動「すごいぞ！プロの技」において、見つけてきたプロの技を自慢するような気持ちで紹介しあう発表会を行うことで、いろいろな職業のプロの技を知ることができるであろう。
- 4 学級活動「『ザ・仕事探偵！』調査結果徹底分析」で、職業体験学習で見つけてきた「プロの技」に込められた働く人の思いについて考え、その考えを分類、整理する活動を行うことで、働くことの価値に気づくことができるであろう。

## 研究の内容

### 1 基本的な考え方

#### (1) 「働くことの価値に気づく」とは

「働くことの価値」を職業の三要素と言われる「生計の維持」「社会的連帯の実現」「自己実現」ととらえ、それらを見つけることによって働くことはやりがいのあるものだ、大切なことだと気づくことと考える。三要素のすべてを見つけることができれば最も良いが、見つけられたものが二つあるいは一つであっても、そこから働くことの価値に自らの実感として気づくことができるであろう。そしてその気づきが、「望ましい職業観・勤労観」の形成につながっていくだろうと考える。

#### (2) ワークシート「ザ・仕事探偵！」とは

職業体験学習において、気づいたことを記入し整理するためのワークシートである。まず「見て気づいたこと」という観点で働いている人の姿を見て気づいたことを、次に「聞いて気づいたこと」という観点で自分では気づかなかったけれど働いている人の話を聞くことによって分かったことや印象に残った一言を、そして「やって気づいたこと」という観点で見ただけでは分からなかったけれど体験してみても気づいたことを、それぞれ記入する。具体的な三つの観点を

持ち、探偵のようにじっくり見たり聞いたりすることによって、いろいろな視点で働く人のプロの技を見つけることができると考える。

(3) 発表会「すごいぞ！プロの技」とは

職業体験学習で見つけてきたそれぞれの職業におけるプロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を紹介しあうポスターセッションである。プロの技を自慢するような気持ちでポスターを作成し、プロの技を強調した発表会を行うようにする。そのような発表を聞くことで自分が体験してきた職業だけでなく、いろいろな職業にプロの技があることを知ることができると考える。

(4) 全体構想図



2 実践の概要及び結果と考察

考察に当たっては、2年生徒全体（4クラス123名）と抽出生徒A子のワークシート「ザ・仕事探偵！」の記述内容、「すごいぞ！プロの技」でのポスター、活動後の感想等の分析を中心に行った。A子は将来、盲導犬訓練士になりたいと考えており、職業体験学習においてもそれに近い職業をとということで犬の訓練士を希望した。職業を選ぶ上では、好きなことを選ぶことが大切だと考えている。しかし、仕事を選んだ理由は犬が好きだからというものであり、深くやりがいなどについて考えられているとは言えない。

(1) 職業体験学習において働く人のプロの技を見つけてこようという意欲が高まったか。  
(見通し1)

ア 実践の概要

「消防士」と「スーパーマーケットの店員」の写真を見て、仕事の内容や気をつけていることは何かということについて考え、クラスで話し合った。そして、写真からは簡単に気づくことができないことを授業者が示した。

イ 結果と考察

まずは、一人一人が消防士、スーパーマーケットの店員の写真を見てそれぞれの仕事内容や特徴について考えた。資料1は、左から「119番通報を受ける消防署の職員」、「スーパーのレジ係の店員」の写真を見て記入したものである。

資料1 授業で気づいたこと

この人たちの特技(裏技)は？	この人の仕事は？
いつでも落ち着いている	じじうち。
全員、英語が話せる 他の外国語もマスター	おれを預けたら声を出す。(確認) 「ありがとうございました」(笑顔)→店の顔

上段が個人で考えたことであるが、表面的なイメージやふだん見ている姿からとらえていることが分かる。多くの者が同様のとらえ方をしてきた。次に、話し合い活動を行った。消防士については、「状況を素早く把握する力・相手を落ち着かせる話し方・的確な話し方」といったことがあげられた。また、レジ係の店員については、「値段を間違えないようにする・品物を丁寧にかごに入れる」などがあると話し合われた。様々な意見を聞くことによって、自分が気づかなかったことがあることを確認することができた。そして、最後に生徒が気づくのは難しいこととして、「災害救急情報センターの119番通報を受ける職員は英語を話せるほか、1、2か国語をマスターしている」「このレジ係の店員は『自分はお店の顔である』と考え、『ありがとうございました』と笑顔で言うことを心がけている」ということを授業者が示した。資料2はこの活動の最後に生徒が書いた感想の一例である。この記述から、自分の知らないプロの技(専門的な技術や知識、仕事へのこだわり)があることに気づいたことで、自分が体験する職業にも同じようなことがあるはずだという期待を持ち、それを見つけてこようという意欲が高まったことが分かる。

資料2 職業体験で見つけてきたいこと

二つとも気を付けなければならないことがたくさんあってビックリした。職業体験も今日みたいなことに気づけるようにガンバル。  
意外に細かいところに一つ一つ気をつけていることが分かった。小さいことでも注意してみてきたい。  
いろいろ考えて仕事してるんだなあと思った。気をつけていることや絶対にしている行動などを見て学んできたい。  
私はただ見ているだけでその仕事を分かったような気がしていましたが、スーパーでの仕事にも一つ一つ大事な役割があることが分かりました。職業体験で、私は働いている人が心がけていることを知りたいです。

A子は感想で、「ふだん、見ているようで見ていないことが分かった。スーパーの店員さんでもそうだった。私が行く場所は、みんな知らないと思う所だから、どんな場所でどんなことをしているのかを見つけない。」と書いている。今回の活動でプロの技を見つけてこようという意欲が高まったと言えるだろう。

(2) 職業体験学習を行い、気づいたことを「ザ・仕事探偵！」にまとめることで働く人のプロの技(専門的な技術や知識、仕事へのこだわり)を見つめることができたか。(見通し2)

ア 実践の概要

プロの技を見つけてこようというねらいを持って職業体験学習を行い、「見て」「聞いて」「やって」という三観点で気づいたことを、「ザ・仕事探偵！」にまとめ、記入した。

## イ 結果と考察

「ザ・仕事探偵！」の主な記述内容は資料3の通りである。看護師を体験した生徒の記述を見ると、「見て」という観点では「みんな常にスマイル」、「聞いて」という観点では「家族との信頼・協力が重要」、「やって」という観点では「手際のおよぎが必要」と書いている。これを初めとして、三つの観点を持つことでいろいろな視点で職業をとらえることができたと言える。また記述から生徒たちが気づいたことについて分析したところ、資料4のグラフのような結果となった。最も多かったのは「こだわりやプロの技」である。延べ人数であるが、226人の生徒がこれをあげている。三つの観点のうちいずれか一つでは、ほぼ全員の生徒がこのことを見つけてくることができた。

A子は、資料5のように気づいたことを記入した。

### 資料5 A子の記述



「見て気づいたこと」では「訓練士の方の犬にはっきりと命令を伝える態度」を、「聞いて気づいたこと」では「犬が好きであることは大切であるが、思いやりや探求心、根気強さも必要である。犬が好きだけでは駄目だ。」ということを書いている。三つの観点で、プロの技を見つけることができたと言えるだろう。

(3) 発表会「すごいぞ！プロの技」を行い、プロの技を紹介しあうことで、いろいろな職業のプロの技を知ることができたか。(見通し3)

### ア 実践の概要

「ザ・仕事探偵！」にまとめたプロの技をもとにして、ポスターを作成し、発表会「すごいぞ！プロの技」を行った。ポスターセッションの形式で行い、それぞれの生徒が2回発表し、8事業所の発表を聞いた。発表の最後には質疑応答の時間をとり、一方通行の発表にならないように注意した。

### イ 結果と考察

まずは、見つけてきたことをもとにして、それを自慢するような気持ちで発表の準備をし、ポスターを作成した。そして、作成したポスターを用いてポスターセッションによる発表会を

## 資料3 「ザ・仕事探偵！」の主な記述

### 見て気づいたこと

- みんな常にスマイル(看護師)
- 動物に慣れている、優しく接している(動物園)
- 子どもと話すときには、しゃがんで子どもと同じ目線に立つ(小学校教諭)
- 大きな声で「いらっしゃいませ」と言っていた(コンビニ)
- お客さんに気をつかわせないようにしていた(美容師)
- 安全に対する注意事項を書いた紙が至る所に貼ってあり、安全に配慮していた(駅員)

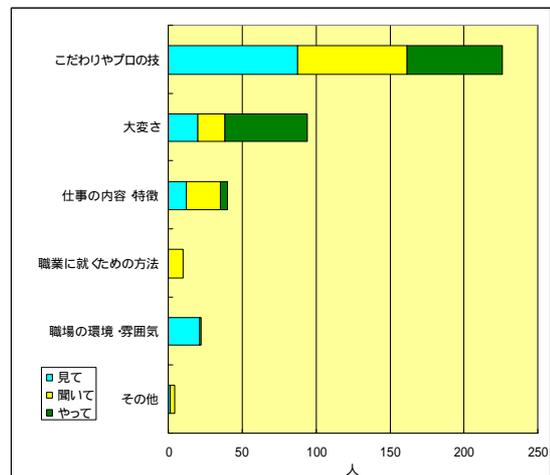
### 聞いて気づいたこと

- 家族との信頼・協力が重要(看護師)
- 動物についての専門的な知識をたくさん持っている(動物園)
- 一つずつ丁寧に作るのが大切(洋菓子屋)
- 室温や、水・粉の温度にも注意する(パン屋)
- ミスは許されないが、やりがいがある(自動車整備士)
- お客さんの望んでいることを見抜いてサービスをする(美容師)

### やって気づいたこと

- 患者のケアは手際よくやらなければならない(看護師)
- 薬の量を間違えると病状が悪化してしまうので慎重に作業する(薬剤師)
- あいさつは簡単だと思ったが、声を出すのは難しい(コンビニ)
- ラッピングや水やりも大変で、思ったよりも重労働(生花店)
- 子どもに絵本を読んだが楽しそうではなかった。先生は声優のように感情を込めて読んでいた(幼稚園教諭)

## 資料4 気づいたこと(複数回答)



犬が好きであることは大切であるが、思いやりや探求心、根気強さも必要である。犬が好きだけでは駄目だ。」ということを書いている。三つの観点で、プロの技を見つけることができたと言えるだろう。

行った。資料6のPR文や、資料7のA子のポスターを見て分かるように、プロの技を強調した発表を行うことができた。

発表会後の生徒の感想では、「プロの技がたくさんあった」「今まで知らなかったことが分かった」「どの職業も楽しそうだが、とても難しそうだった」「なるほどと思うことがたくさんあった」というような声が多く聞かれた。また、A子も「いろいろな仕事について分かってよかった」と感想を述べている。この活動を通して、自分が体験してきた職業だけでなく、いろいろな職業にそれぞれプロの技があることを知ることができたと言えるであろう。

(4) 「『ザ・仕事探偵!』調査結果徹底分析」で、「プロの技」に込められた働く人の思いを考え、その考えを分類、整理する活動を行うことで、働くことの価値に気づくことができたか。(見通し4)

#### ア 実践の概要

まず、「すごいぞ!プロの技」で知ったいろいろなプロの技をもとに、仕事をしている人たちは、なぜこだわりを持ったり、難しい技術を身に付けたりして働いているのかを一人一人で考えた。次に、班を作りそれぞれの意見を分類、整理して、学級全体の中で発表した。最後に、「働くこと」について個人で考え、ワークシートに記入した。

#### イ 結果と考察

「なぜこだわりを持ったり、難しい技術を身に付けたりして働いているのか」を考えることは、働く人たちはどんなことに価値を見いだして働いているのかということを考えることにほかならない。資料8は、生徒がとらえた価値をまとめたものである。まずは自分の体験から、「お客さんにおいしいものを届けようと難しい技術を身に付けている」「患者さんを安心させるためにこだわりを持って仕事をしている」というように、具体的にプロの技に込められた働く人の思いに気づくことができた。そして、これらを基に、班になって個々の考えを分類、

### 資料6 ポスターセッションPR文

犬の訓練士のプロの技、やりがいなどいろいろなことを見つけました。クイズもあります。犬の好きな方もそうでない人も楽しめるとおもいます。クイズを解く自信がある方、ぜひ来てください。これを見れば犬の訓練士になれる!? (犬の訓練士)

よりよいものを、より早く作る新聞社のシステムをわかりやすく説明します。(新聞社)

私達はふだん利用するときでは見られない図書館の裏側や貴重な本がたくさん保存されている倉庫などもう二度と体験できないようなすごいことを体験させてもらいました。その体験の全部をこのポスターに濃縮したのでどうぞご覧になってください。(市立図書館)

現代の飛脚の技を公開。(郵便局)

### 資料7 A子のポスター



### 資料8 生徒のとらえた価値

#### 誇り

- ・仕事に誇りを持っているから
- ・自分の味に自信を持っている
- ・自分らしい作品を作りたいから

#### 自分のため

- ・自分の技を究めるため
- ・幸せになるため
- ・相手が喜ぶと自分もうれしいから
- ・好きだから

#### 人のため

- ・周りの人に迷惑をかけない
- ・人間が安全に暮らしていけるように
- ・人を助けるため
- ・役に立ちたいから

#### 働くこと の価値

#### 信頼・責任

- ・お客さんに信頼してもらうため
- ・事故を起こさないようにするため
- ・ミスすると患者さんの命にかかわるから

#### 相手が喜ぶように

- ・おいしいものを届けようとして
- ・お客さんを満足させるため
- ・患者さんを安心させるため
- ・人を喜ばせるため

#### お金のため

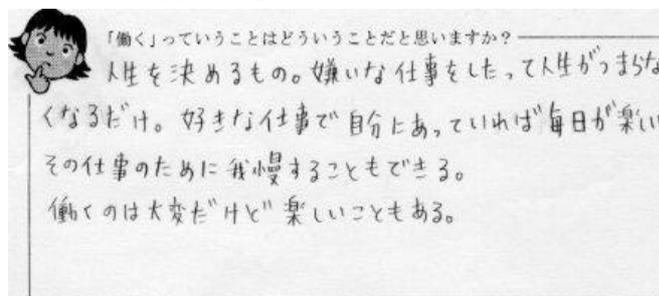
- ・生活していくため
- ・お金を稼いで食べていくため
- ・お金をたくさんもらえるように
- ・頑張れば老後が安心だから

整理することで、働くことの価値を自分たちの言葉でまとめ上げることができた。

そして、実はこのまとめには職業の三要素がすべてあげられている。つまり、「自分のため」「誇り」は「自己実現」に、「人のため」「相手が喜ぶように」「信頼・責任」は「社会的連帯の実現」に、「お金のため」は「生計の維持」に置き換えて考えることができるのである。

また、A子は「働くこと」について資料9のように書いている。好きなことの中にも我慢しなければならないことや大変なことがあるだろうが、それを乗り越えたところに楽しさがあると考え、働くことは「人生を決めるもの」ととらえている。そして、授業後の感想では、将来は「自分が一生懸命に働いて、その仕事を生きがい（誇り）にできるようにしたい。」と述べていた。単に好きなことをやりたいという考えが、働くことは人生を決めるほど大切なもので生きがいとなるものでもあり、だからこそ自分にあった好きな仕事をしたいという考えに深まったことが分かる。

資料9 「働くこと」についてのA子のまとめ



以上のように、「なぜこだわりを持ったり、難しい技術を身に付けたりして働いているのか」という問いに対して自分の考えを持つとともに、友達のいろいろな意見を聞き、それらを分類、整理することで、働くことの価値に気づくことができたと言えるだろう。

## 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

働いている人の専門的な技術やこだわりについて考え、話し合うことで、いろいろなプロの技を知り、職業体験学習で見つけてくる意欲が高まった。

ワークシート「ザ・仕事探偵」を用い、三つの観点に基づいて働く人の様子をまとめることにより、プロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を見つけることができた。

発表会「すごいぞ！プロの技」を行うことで、いろいろな職業のプロの技（専門的な技術や知識、仕事へのこだわり）を知ることができた。

『「ザ・仕事探偵！」調査結果徹底分析』で、働いている人たちがなぜこだわりを持ったり、難しい技術を身に付けたりして働いているのかを考えることで、働くことの価値に気づくことができた。

### 2 今後の課題

職業体験学習を有意義なものにするためには、事前・事後学習の充実を図らなければならない。そのためにはある程度の時間が必要であり、その確保が課題となってくる。他の題材との関連を考慮しながら、時間の確保ができるよう年間計画の見直しを行っていきたい。また、今回の学習で気づいたことを、自分で働くことに結びつけられるように学習を発展させていく必要もある。自らの職業適性を考えて将来の夢や希望を持ち、それが進路選択の大きな要因の一つとなるように、今後の進路学習の工夫に取り組んでいきたい。

#### 主な参考資料

- ・『研究報告書第187集【学校経営課】』 群馬県総合教育センター(2000)